

## 次

## 01 巻頭エッセイ

越境・トランスナショナルリズム・多文化共生

村井忠政

## 03 特集「トランスナショナルリズム」

第一部「越境の文学」

越境文学研究とドイツ語圏越境文学

土屋勝彦

アーキペラゴとポードーランド

田中敬子

— 文学受容の越境論をめぐって —

多和田葉子の〈旅〉

谷口幸代

ハンガリーの越境作家の経験と作品、その社会的意味

山本明代

— アコタ・クリストフを中心に —

## 19 第二部「外国人住民との共生」

トランスナショナルな移住とアイデンティティの変容

— 日系ブラジル人のテカセキ現象を事例として —

村井忠政

想像上の「郷里」とハイカルチャー

— トランスナショナルな移住と日系ブラジル人家族 —

ヤノ・パトリシア

国籍法第二条一項の憲法第一四一条一項適合性

— 東京地裁違憲判決（二〇〇六年三月二十九日）について —

井上禎男

多文化共生とメディアの役割

— 犯罪報道を手がかりに —

飯島伸彦

— ありがたくない共生 — 沖縄の場合 —

阪井芳貴

名古屋の「観光まちづくり」

山田 明

## 48

シンポジウム報告

東アジア共同体にみる記憶と夢

— 在日コリアンと「リヨサム」 —

成 玖美

地球環境主義時代における多文化共生の問題点

赤嶺 淳

越境文学の現況をめぐって

土屋勝彦

歴史・文化・自然を活かしたまちづくりと環境

山田 明

## 55

人間文化研究所共同研究プロジェクト年間活動報告

名古屋と東海三県における多文化共生の現状と課題

— 自治体の外国籍住民施策を中心として —

越境する文学の総合的研究

— 一八歳のハローファミリ —

— 次世代育成支援のための若者へのメッセージの研究 —

障害児の発達と親の子育て支援プログラム開発

名古屋の環境・文化・まちづくりと観光に関する学際的研究

東海地方における漁村・山村の歴史と文化 — 開発・環境・生活文化 —

地域研究における記述

## 68

人間文化研究所年間活動

表紙写真：「ハンシャルマンシンの水上マーケット（インドネシア・南カリマ

ンタン州）。タイのバンコクの水上マーケットが有名であるが、東南アジアに点在する河川型社会には、多数の水上マーケットが存在している。」（赤嶺淳、二〇〇六年二月二十八日撮影）